

注意事項

写真撮影、録音、携帯電話等のご使用は、
ご遠慮いただきますようお願い申し上げます。
なお、スマートフォン・タブレットをご使用の際は、音のでない
設定でご使用いただきますよう、ようお願い申し上げます。



第67回 定時株主総会

2025年6月20日

株式会社J-MAX

1.報告事項	■ 監査報告	
	■ 事業報告及び計算書類の報告	
2.決議事項	第1号議案	剰余金の処分の件
	第2号議案	定款の一部変更の件
	第3号議案	取締役（監査等委員である取締役を除く）4名の選任の件
	第4号議案	監査等委員である取締役3名の選任の件
	第5号議案	補欠の監査等委員である取締役1名の選任の件
	第6号議案	取締役（監査等委員である取締役を除く）の報酬枠の設定の件
	第7号議案	監査等委員である取締役の報酬枠の設定の件
	第8号議案	取締役（監査等委員である取締役、非業務執行取締役及び社外取締役を除く）に対する株式報酬制度の額及び内容決定の件

議決権数報告

株主数及び議決権数（2025年3月31日現在）

- 議決権を有する株主数 2,280名
- 議決権数 115,627個

監査報告

招集ご通知交付書面64～65ページをご覧ください

- 連結及びセグメント業績
- 設備投資の状況
- 連結計算書類
- 対処すべき課題
- 第68期 業績予想

招集ご通知交付書面30～59ページをご覧ください

[AIの自動音声でお伝えします](#)

世界経済

- × 欧米 高い金利水準の継続
- × 中国 不動産市場の停滞の継続
- インフレ沈静化
- 世界貿易の持ち直し

底堅く推移

日本経済

- 雇用・所得環境の改善による個人消費の持ち直し
- インバウンド需要の拡大

緩やかな回復

自動車業界

日本

- × 一部自動車メーカーの
認証不正・品質問題
による出荷・稼働停止

生産減少

タイ

- × 高水準の家計債務
- × 自動車ローン厳格化

市場低迷

中国

- 自動車の買い替え推進政策
- 完成車メーカー各社による販売促進策
- × 日系自動車メーカーは、
新エネルギー車の需要拡大の対応遅れ
低価格の新エネルギー車登場による競争激化

好調維持

連結業績

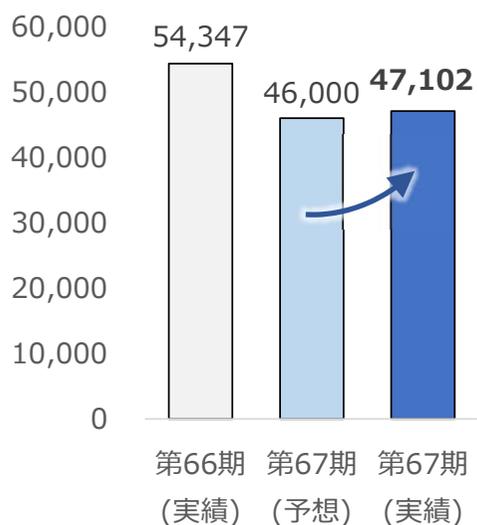
(単位：百万円)

売上高

47,102百万円

前期比 ▲13.3%

予想比 +2.4%

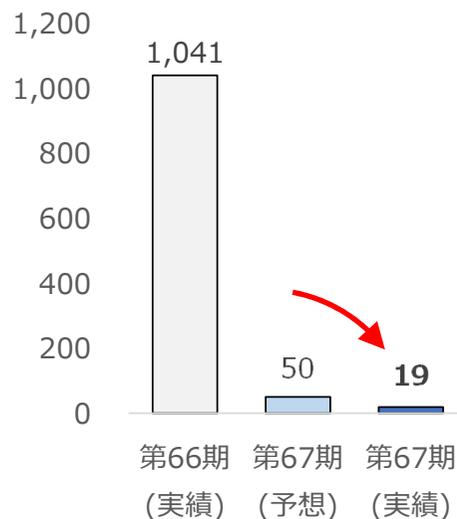


営業利益

19百万円

前期比 ▲98.2%

予想比 ▲61.8%

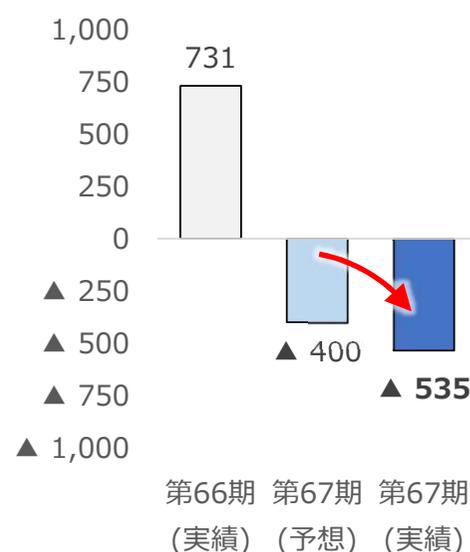


経常利益

▲535百万円

前期比 ▲1,266百万円

予想比 ▲135百万円



親会社株主に帰属する 当期純利益

▲3,282百万円

前期比 ▲2,255百万円

予想比 ▲822百万円



※前期比・予想比は、当期・前期・予想のうち、該当する数値の両方がプラスの場合は増減率、
当期・前期・予想のうち、該当する数値の一方若しくは両方がマイナスとなる場合は増減額で記載。

セグメント業績 (J-MAX)

8/54

売上高

19,391

百万円

前期比 ▲9.7%

営業利益

472

百万円

前期比 ▲50.2%

経常利益

754

百万円

前期比 ▲40.5%

主要客先向け自動車部品の**生産減少**に加え、金型設備等の**販売が減少**したことにより、**売上高は減少**

売上減少に伴う固定費負担の増加及び**生産車種構成変化の影響**に加え、**岡山工場準備費用の増加等により利益は減少**

※前期比は、当期・前期の両方の数値がプラスの場合は増減率、
当期・前期のうち、該当する数値の一方若しくは両方がマイナスとなる場合は増減額で記載。

J-MAXにおいては、新規受注先の拡大や新たな生産拠点の整備に加え、今後の競争力強化につながる研究開発の推進等、グループ全体の成長を牽引しております



岡山工場

セグメント業績 (タイ)

9/54

売上高

6,154

百万円

前期比 ▲20.1%

営業利益

53

百万円

前期比 +201百万円

経常利益

▲92

百万円

前期比 +170百万円

主要客先の国内向け自動車部品及び汎用エンジン部品等の**生産減少**により、**売上高は減少**

前期から継続して取り組んでいる**構造改革**として、要員適正化及び金型事業圧縮等を中心とした**原価低減活動を推進**したことにより、**経常損失は大幅な赤字縮小**

※前期比は、当期・前期の両方の数値がプラスの場合は増減率、当期・前期のうち、該当する数値の一方若しくは両方がマイナスとなる場合は増減額で記載。

タイにおいては、タイ国内及び輸出先である周辺国における市場が成熟化する中、固定費削減を中心とした構造改革推進により、利益体質の強化を図っております



タイ・マルジュン社

セグメント業績（広州）

10/54

売上高

13,822

百万円

前期比 ▲13.7%

営業利益

▲367

百万円

前期比 ▲369百万円

経常利益

▲714

百万円

前期比 ▲465百万円

構造改革による要員適正化及び生産能力適正化等の取り組みに加え、生産工場再編に伴う不要資産売却を推進する等、利益体質強化を図っているものの、主要客先の大幅な減産影響等により、売上高及び利益ともに減少

※前期比は、当期・前期の両方の数値がプラスの場合は増減率、
当期・前期のうち、該当する数値の一方若しくは両方がマイナスとなる場合は増減額で記載。

広州においては、持続可能な企業体質構築を図るため構造改革を推進するとともに、中国で加速する自動車電動化の需要を取り込むため、電動化に特化した工場を建設する等、電動化事業の拡大を展開しております



福建丸順社

セグメント業績（武漢）

11/54

売上高

8,835

百万円

前期比 ▲24.5%

営業利益

▲186

百万円

前期比 ▲524百万円

経常利益

▲180

百万円

前期比 ▲442百万円

当期から開始した**構造改革**により、要員適正化に伴う労務費削減に加え、生産能力適正化等に伴う設備費、経費等の**原価低減活動に取り組んでいるものの**、主要客先の大幅な減産影響により、**売上高及び利益ともに減少**

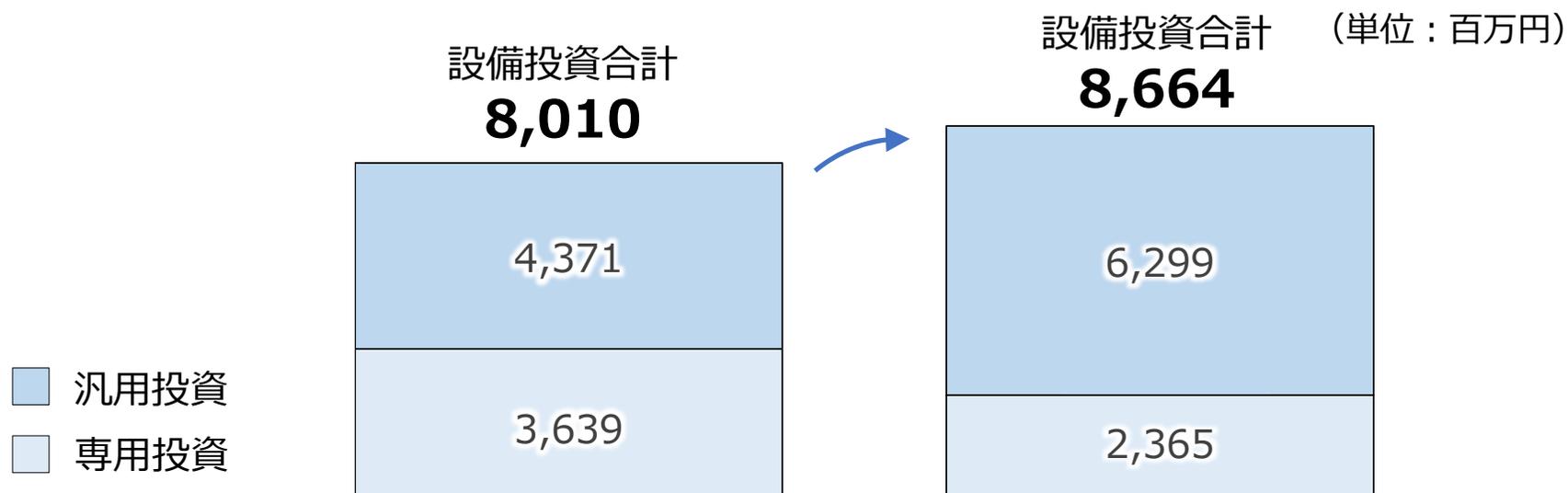
※前期比は、当期・前期の両方の数値がプラスの場合は増減率、
当期・前期のうち、該当する数値の一方若しくは両方がマイナスとなる場合は増減額で記載。

武漢においては、生産効率化及び原価低減活動等による企業体質強化の取り組みに加え、異素材加工の差別化技術の確立やEV市場の伸長による受注先の拡大等に取り組み、新たな収益基盤の構築に努めております



武漢丸順社

設備投資の状況



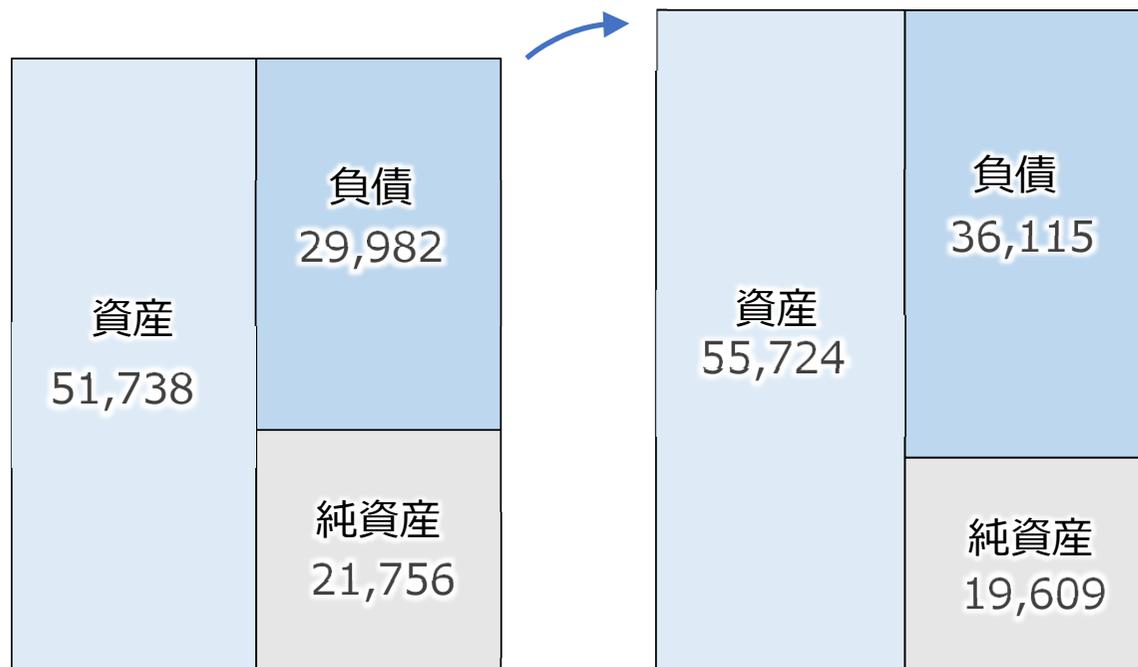
		第66期	第67期
主な投資	J-MAX	汎用投資 ・岡山工場関連 ・太陽光パネル	汎用投資 ・岡山工場関連
	広州	汎用投資 ・新プレスライン ・福建新工場関連 ・メッキライン	汎用投資 ・新プレスライン ・福建新工場関連
	全拠点共通	専用投資 ・新型車種金型	専用投資 ・新型車種金型

連結貸借対照表

(単位：百万円)

J-MAX岡山工場及び
広州福建工場立ち上げ等の
成長投資により
有利子負債増加

自己資本比率については、
一時的に低下するものの、
一定水準を維持



	第66期	第67期	
有利子負債	18,339	25,078	増加
現預金	5,991	6,565	
自己資本比率	38.5%	32.2%	維持

対処すべき課題

- 中長期5か年計画「J-VISION 30」

2023年5月9日に中長期経営計画を公表。しかしながら、外部環境に大きな変化があったため
2024年5月10日に**中長期経営計画の見直し**を公表。

中長期経営計画 -ビジョン・基本戦略-

「J-VISION 30」

①2030年に向けて ②30年後の100年企業に向けて
「**既存事業の強化**」と「**新事業の創出**」を戦略の2本柱とし、
第66期～第70期中長期計画を「**J-VISION 30**」とする

ビジョン

技術で夢を

-Make our dreams by Technology-

持続可能な100年企業を目指し、既存事業の技術を磨くと共に、
新しい事業への探索と挑戦で企業価値を高め、
従業員をはじめとするステークホルダーと夢を共有する。

【中長期方針】 資源配分の最適化により、強固な経営基盤への変革

基本戦略

1. ブランド力強化と新規顧客開拓による売上の拡大
2. 新事業確立に向けた新商品の開発
3. デジタルを駆使しプロセスを変革させコア技術を進化
4. 次世代工場の構築と新しいモノづくりへのチャレンジ
5. DXの展開加速で経営構造の変革
6. 持続的な成長に向けた事業ポートフォリオの変革
7. サステナビリティ経営による企業価値の向上

企業成長



ビジョン・基本戦略は**変更なし**

注力テーマを明確化

◆**電動化・軽量化に集中した
電動化サプライヤーへの転換**

◆**事業構造改革推進による
持続可能な企業体質の構築**

中長期経営計画の基本戦略に対する進捗状況

16/54

基本戦略		進捗状況 (66期～67期)	評価	
01	ブランド力強化と 新規顧客開拓による 売上の拡大	<ul style="list-style-type: none"> 岡山地区 売上の拡大 中国電動化 事業の拡大 	<ul style="list-style-type: none"> 日本・中国にて電動化メーカー取引拡大 西日本地区(岡山含む)の拡販順調 開発と営業による共同営業 中国における客先減産影響による減収影響が大きく売上額での拡大はできていない 	△
02	新事業確立に向けた 新商品の開発	<ul style="list-style-type: none"> 研究開発の強化 	<ul style="list-style-type: none"> 電動化メーカーとの共同開発により、技術向上及び試作・量産受注 	○
03	デジタルを駆使し プロセスを変革させ コア技術を進化	<ul style="list-style-type: none"> 金型事業の ビジネスモデル変革 	<ul style="list-style-type: none"> 多能工化推進によりボトム体質を継続推進 広州拠点において電池ビジネス対応としてビジネスモデルの変革推進中 CAE活用によるプロセス見える化 	○
04	次世代工場の構築と 新しいモノづくりへの チャレンジ	<ul style="list-style-type: none"> 生産工程の自動化 スマートファクトリー化 実現による モノづくりの進化 	<ul style="list-style-type: none"> AGVやロボット等による自動化及びAI活用による自動測定等を推進中 日本において浅西工場のプレス及び溶接設備の上石津工場への集約 	○

中長期経営計画の基本戦略に対する進捗状況

17/54

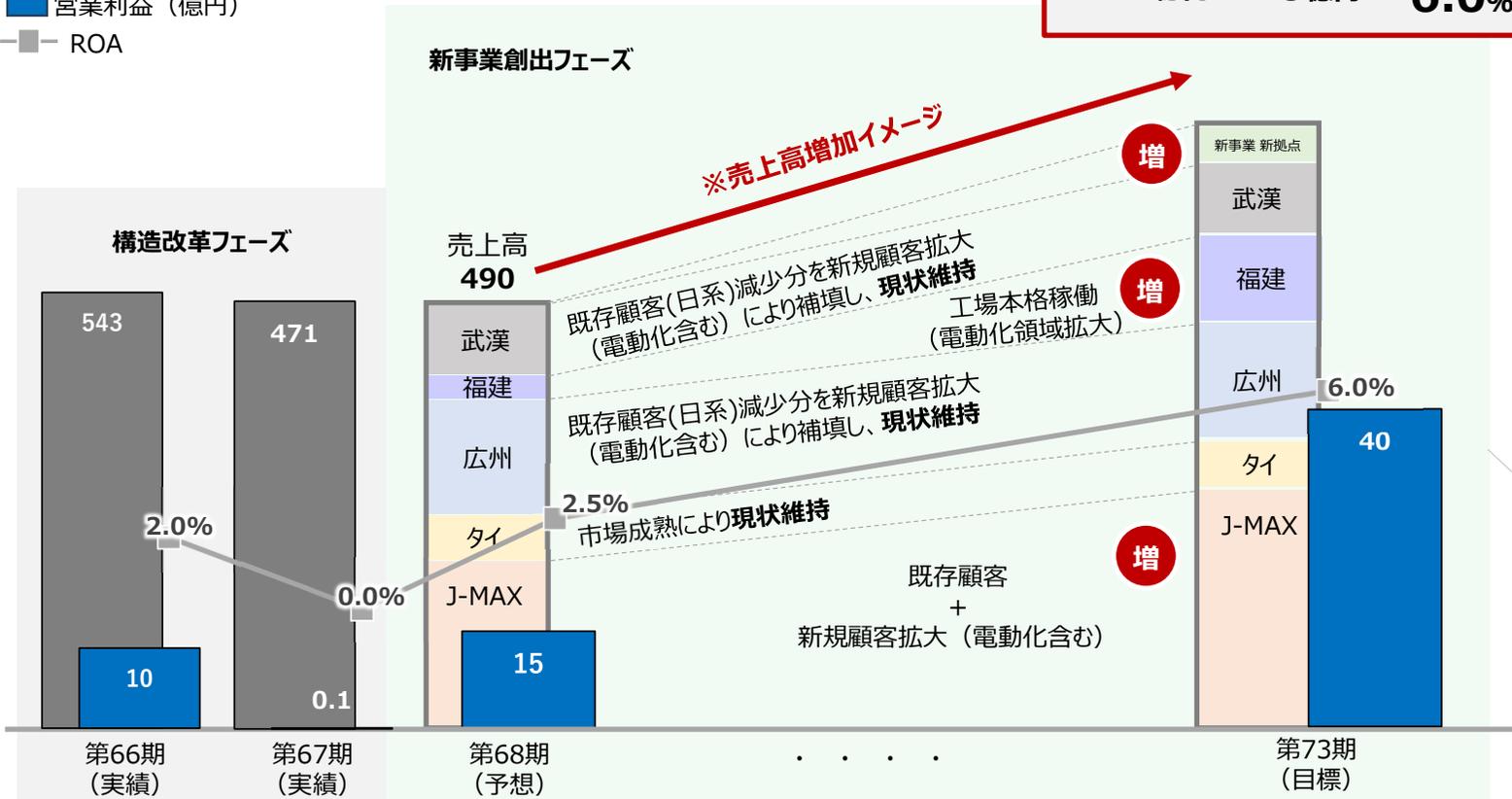
基本戦略		進捗状況 (66期～67期)	評価	
05	DXの展開加速で 経営構造の変革	<ul style="list-style-type: none"> 各種システムの導入完了 システム適用範囲拡大中 	○	
06	持続的な成長に向けた 事業ポートフォリオの 変革	<ul style="list-style-type: none"> グループ全体で構造改革を実施 J-MAX：工場再編を中心とした生産効率向上取組み タイ：金型事業縮小に伴う工場・土地売却 生産体制見直しによる要員適正化 広州：広州恒邦倉儲有限公司 (旧：広州丸順社第1工場) 売却 生産体制見直しによる要員適正化 客先生産に対応した生産設備の最適化 武漢：生産体制見直しによる要員適正化 客先生産に対応した生産設備の最適化 	○	
07	サステナビリティ経営による 企業価値の向上	<ul style="list-style-type: none"> ESGの取組強化 最適な資本政策の実施 	<ul style="list-style-type: none"> CO2排出量削減率以外は達成 株主還元の拡充できず 	△

中長期経営計画の目標値に対する進捗状況

● 目標値とする姿への到達イメージ (売上高・営業利益・ROA推移)

- 売上高 (億円)
- 営業利益 (億円)
- ROA

第73期目標値		
売上高	営業利益	ROA (総資産営業利益率)
700億円	40億円	6.0%



第67期は外部環境及び構造改革の実施等により第66期を下回る第68期より徐々に目標値達成へと向かう

岡山工場の進捗

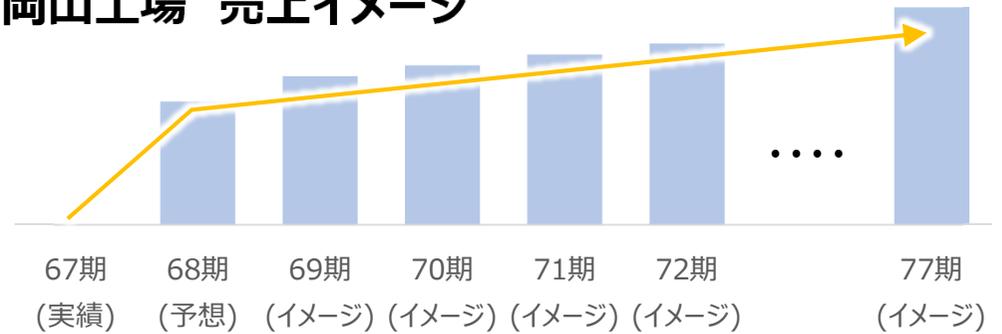
◆ 2025年2月 岡山工場建設完了(岡山県浅口市) 国内3機目の大型プレス設備導入で生産能力大幅UP

【概要】> 自動車部品製造(ボディ部品)
所在地：岡山県 浅口市 鴨方
土地：約 23,000㎡ (約6,900坪)
建物：約 8,000㎡ (約2,400坪)
従業員数：30~40名
主要設備：3000tonトランスファープレス 1台
800ton プログレプレス 1台

2025年7月量産開始



◆ 岡山工場 売上イメージ



◆ 岡山工場 生産車種

NISSAN・MITSUBISHI		
「DAYZ / ek WGN,X」	「ROOX / DELICA MINI」	「SAKURA / ek X EV」
2019年	2020年	2022年

中国福建丸順社 工場稼働開始

◆2025年3月 福建丸順社 工場稼働開始 中国電動化ビジネスの基盤強化と能力拡大

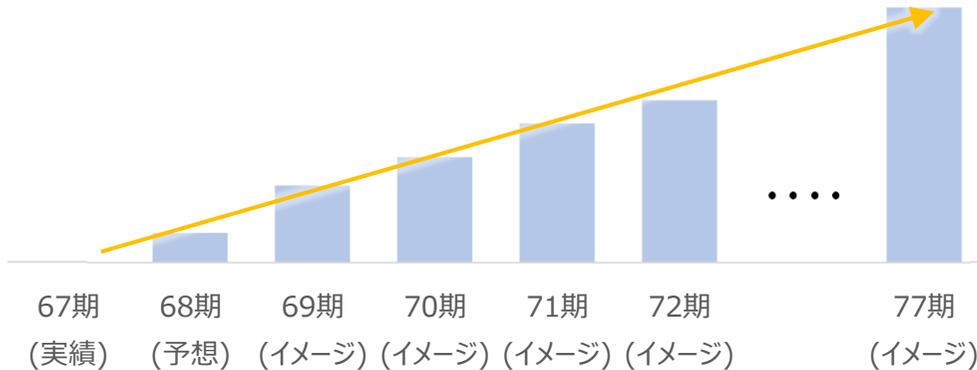
【概要】▶自動車部品製造(大型バッテリーケース/カバー)
所在地：福建省福州市羅源县

土地：約 38,000㎡ (約11,500坪)
建物：約 30,850㎡ (約9,100坪)
従業員数：119名 ※2025年3月時点

主要設備：5230ton オートTDM プレスライン
1000ton/800ton プレス 各1台
自動溶接ライン、カチオン/PVC塗装ライン等



◆福建丸順社 売上イメージ



◆福建丸順社 生産車種・部品群(イメージ)



广汽(AION Y)



Xiaomi (SU7)



第68期業績予想

21/54

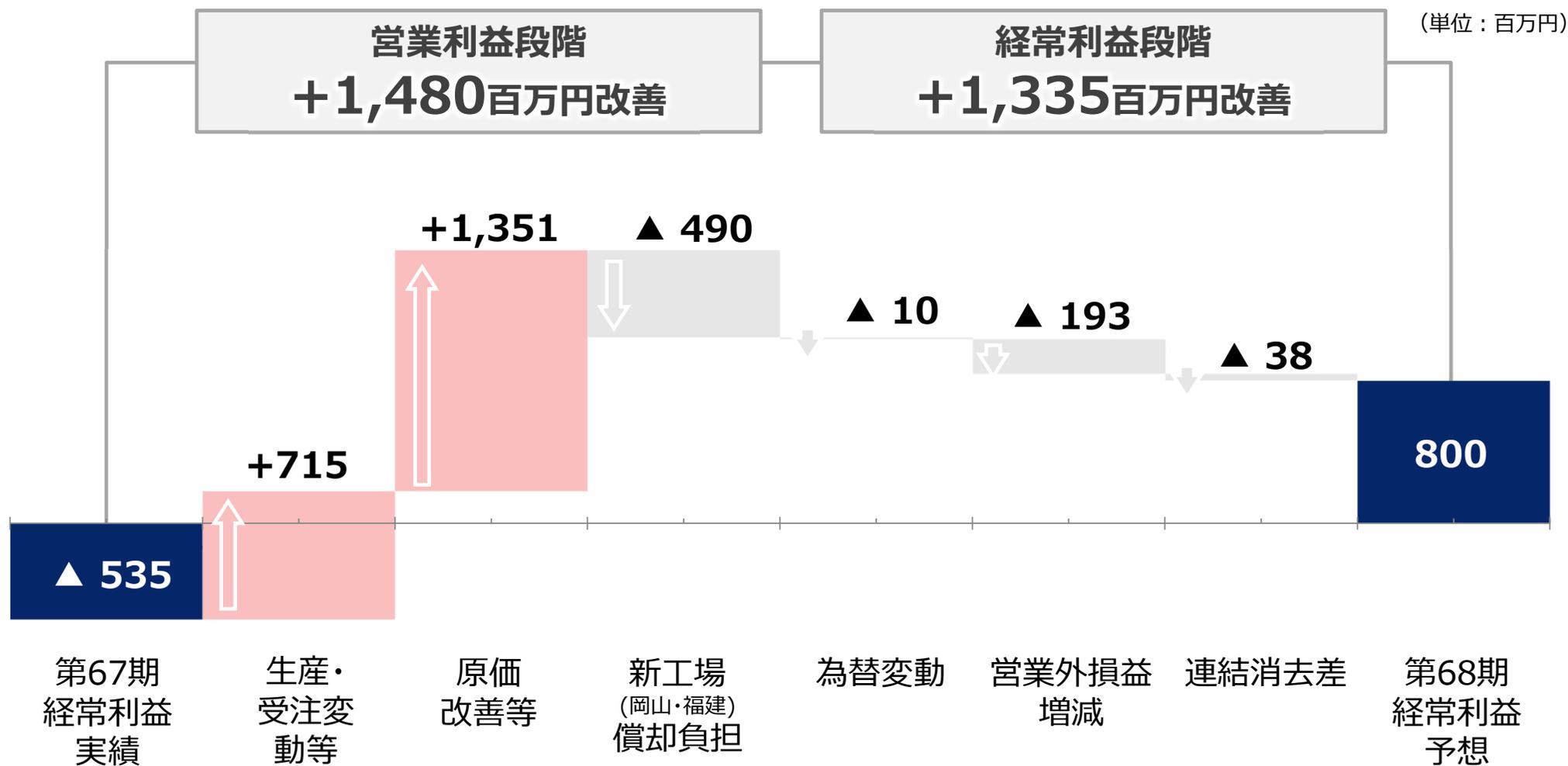
トランプショックによる消費の冷え込みや中国における電動化拡大の影響による主要客先の減産等を踏まえ、第68期においても主要客先の減産が継続するものと想定し、業績予想を算出。また、日本(J-MAX)岡山工場及び中国福建新工場稼働に伴う売上高増加を反映。

(単位：百万円)

	第67期 実績	第68期 予想	増減額	増減率
売上高	47,102	49,000	+1,897	+4.0%
営業利益	19	1,500	+1,480	+7,754.6%
営業利益率(%)	(0.0%)	(3.1%)		
経常利益	▲535	800	+1,335	-
経常利益率(%)	(-)	(1.6%)		
親会社株主に帰属する 当期純利益	▲3,282	350	+3,632	-
当期純利益率(%)	(-)	(0.7%)		
一株利益(円)	▲286.34	30.53	+316.87	-

	第68期	第68期配当予想
為替レート	タイバーツ：3.70、人民元：19.00	年間4円（中間2円、期末2円）

第68期業績予想増減要因



以上を持ちまして当期の報告事項の
ご報告を終了いたします。

質疑応答

議長の指名後、質問席にご案内いたします。
初めに「出席票番号」をお伝えいただいた上で、
要点を簡潔にまとめて、ご質問ください。

ご質問については、一回につき1問までと
させていただきたく、お願い申し上げます。

決議事項

第1号議案	剰余金の処分の件
-------	----------

招集ご通知 5 ページをご覧ください

剰余金の処分の件

期末配当に関する事項

- (1) 配当財産の種類 **金銭**
- (2) 配当財産の割当てに関する事項およびその金額
当社普通株式 1株につき 金 2円
総額 23,133,822円
- (3) 剰余金の配当が効力を生じる日
2025年6月23日

質疑応答

議長の指名後、質問席にご案内いたします。
初めに「出席票番号」をお伝えいただいた上で、
要点を簡潔にまとめて、ご質問ください。

ご質問については、一回につき1問までと
させていただきたく、お願い申し上げます。

第1号議案

剰余金の処分の件

決議事項

第2号議案

定款の一部変更の件

招集ご通知 6～11ページをご覧ください

定款の一部変更の件

変更の理由

- (1) 監査等委員会設置会社への移行
- (2) 取締役の責任の一部免除規定の新設

質疑応答

議長の指名後、質問席にご案内いたします。
初めに「出席票番号」をお伝えいただいた上で、
要点を簡潔にまとめて、ご質問ください。

ご質問については、一回につき1問までと
させていただきたく、お願い申し上げます。

第2号議案

定款の一部変更の件

決議事項

第3号議案

**取締役（監査等委員である取締役を除く）
4名の選任の件**

招集ご通知12～16ページをご覧ください

取締役（監査等委員である取締役を除く）4名の選任の件

候補者番号	候補者氏名	現在の当社における地位・担当	取締役会出席状況
1	やまざき えいじ 山崎英次	代表取締役社長執行役員	再任 16/16回(100%)
2	いのくま あつとし 猪熊篤俊	取締役常務執行役員 日本事業本部長	再任 16/16回(100%)
3	たななしてつろう 棚橋哲郎	上席執行役員 広州丸順汽車配件有限公司董事長 武漢丸順汽車配件有限公司董事長 福建丸順新能源汽车科技有限公司董事長	新任 -
4	まつうら こういちろう 松浦孝一郎		新任 -

決議事項

第4号議案

監査等委員である取締役3名の選任の件

招集ご通知17～19ページをご覧ください

監査等委員である取締役3名の選任の件

候補者番号	候補者氏名	現在の当社における地位・担当	
1	あ お や ま ひ で み 青 山 秀 美	取締役常務執行役員 管理本部長	新任
2	た け う ち は る ひ こ 竹 内 治 彦	社外取締役	新任 社外
3	し ぶ や え い じ 澁 谷 英 司	社外監査役	新任 社外

決議事項

第5号議案

補欠の監査等委員である取締役1名の
選任の件

招集ご通知21～22ページをご覧ください

補欠の監査等委員である取締役 1 名の選任の件

候補者 番号	候補者氏名	現在の地位	
1	すな が と し ひ こ 須 長 敏 彦	当社常勤社外監査役	社外

決議事項

第6号議案	取締役（監査等委員である取締役を除く）の報酬枠の設定の件
第7号議案	監査等委員である取締役の報酬枠の設定の件

招集ご通知23、24ページをご覧ください

取締役（監査等委員である取締役を除く）の 報酬枠の設定の件

- **基本報酬額： 年額 210 百万円以内**
うち社外取締役分 20 百万円以内

監査等委員である取締役の報酬枠の設定の件

- 基本報酬額： 年額50百万円以内**

決議事項

第8号議案

取締役（監査等委員である取締役、非業務執行取締役及び社外取締役を除く）に対する株式報酬制度の額及び内容決定の件

招集ご通知25～29ページをご覧ください

質疑応答

議長の指名後、質問席にご案内いたします。
初めに「出席票番号」をお伝えいただいた上で、
要点を簡潔にまとめて、ご質問ください。

ご質問については、一回につき1問までと
させていただきたく、お願い申し上げます。

決議事項の採決

第3号議案 取締役（監査等委員である取締役を除く）4名の選任の件

第4号議案 監査等委員である取締役3名の選任の件

第5号議案 補欠の監査等委員である取締役1名の選任の件

第6号議案 取締役（監査等委員である取締役を除く）の報酬枠の設定の件

第7号議案 監査等委員である取締役の報酬枠の設定の件

第8号議案 取締役（監査等委員である取締役、非業務執行取締役及び社外取締役を除く）に対する株式報酬制度の額及び内容決定の件

第3号議案

**取締役（監査等委員である取締役を除く）
4名の選任の件**

第4号議案

監査等委員である取締役3名の選任の件

第5号議案

補欠の監査等委員である取締役1名の選任の件

第6号議案

**取締役（監査等委員である取締役を除く）の
報酬枠の設定の件**

第7号議案

監査等委員である取締役の報酬枠の設定の件

第8号議案

**取締役（監査等委員である取締役、非業務執行
取締役及び社外取締役を除く）に対する
株式報酬制度の額及び内容決定の件**

本日の総会の目的事項は
すべて終了いたしましたので、
本総会は閉会といたします。

退任役員のご挨拶

新任役員のご挨拶

本日は誠にありがとうございました。

技術で夢を

—Make our dreams by technology—

